

学校企画実施計画書

1. 学校名

北海道南茅部高等学校

2. 企画テーマ名称

北海道 Web High School プロジェクト

3. 企画のねらい

わが国において、インターネットが本格的に導入されてからおおよそ6年ほど経過し、現在では、北海道のほとんどの高等学校がインターネットに接続できる環境にあります。さらに校内ネットワークなどの急速な普及などにより、今まで以上にインターネットを意識した情報教育が必要になってくると予想されます。

そこで、インターネットを使った授業実践の一つの形態として、「Hokkaido Web High School」プロジェクトを企画しました。これは Web ページ上に、バーチャルな学校を作り、各地に分散する参加校の生徒が、メーリングリストなどを活用し、共同で Web を作り上げ、設定する1年間の授業(行事)を運営して行くというプロジェクトです。学校の枠を越え、学校間で交流や共同作業を行い、新教科「情報」などをはじめとする、さまざまな教科(特別活動・課外活動も含む)で、また「総合的な学習」などへのアプローチも行うこともできると考えています。

このプロジェクトの目的は、一つは、生徒が遠隔地での共同作業(交流)を通じ、インターネットの構造を理解し、コンピュータネットワークを活用したコミュニケーションについて学ぶということにあります。北海道は他県に比べ広大な面積を持ち、特に郡部においては学校同士の距離も非常に離れています。そのため学校間交流に距離を意識する必要のないインターネットを用いることは、非常に有効であると考えました。インターネットは情報発信だけのツールではなく、新しいコミュニケーションの可能性を持っている環境であると考えています。今回、インターネットを利用した学校間交流を考えるにあたって、単に Web を製作して一方的に情報発信をするだけではなく、プロジェクトに参加している生徒同士で積極的に交流できるような環境を作り、インターネットの持つ双方向性についても学ばせたいと考えました。また、インターネットを使ったコミュニケーションと、実際に会って行う、コミュニケーションの違いについても学ばせたいと思っています。

もう一つの目的は、インターネットを使用した、交流授業などを導入するときに指摘される、生徒の有害情報の受信・発信など、インターネットの影の部分について、学校側で対応できる環境(モデル)を構築するということです。

例えば、生徒が不適切(有害)な内容の電子メールの送受信することを心配し、学校が

らの電子メールの配信を禁止するよりも、「Web High School」の中で、生徒に積極的にメールをやりとりさせることにより、ネットワークに対するスキル(マナー)を身に付けさせ、その中で、不適切な発言などがあった場合、プロジェクト参加教員の共通理解のもとで指導していける環境を作ることによって、インターネットを生徒により積極的に活用させることができるのではと考えました。それによって教員が安心してインターネット教育を出来るような、環境を作ることが出来ると考えています。

4. 対象授業

3年生 課題研究 2単位

5. 担当教諭

・授業運営・協力校との連絡

教諭 川崎 知文(「課題研究」、商業・情報)

教諭 武 恭子(「課題研究」、英語)

・コンピュータネットワーク設定、マルチメディア CD-ROM 製作

教諭 西村 昇(パソコン部顧問、理科)

・協力校

北海道松前高等学校(Web ページ制作・メーリングリスト参加)

北海道枝幸高等学校(メーリングリスト参加)

6. 授業計画

(1) ウェブページ製作の基礎

HTML タグの学習

ウェブページ製作に必要な HTML ファイルを作成方法を、Windows に標準で添付するエディタ「メモ帳」を用い学習します。

画像加工

デジタルカメラやスキャナ、製作したコンピュータグラフィックなどをコンピュータに取り込み、加工する方法を学習します。画像加工には、Windows に標準で添付されるドローソフト「ペイント」と、フリーなフォトタッチソフト「JTrim」を使用します。

(2) プレゼンテーションソフトの操作

ソフトウェアの操作

マイクロソフト社の「Power Point」を用い、コンピュータを使用したプレゼンテーションの作成方法について学習します。

プレゼンテーション

生徒にテーマを与え、そのテーマにそってそれぞれ生徒が、Power Point で製作したファイルを用い、実際にプレゼンテーションを行わせ、表現する方法を学習します。

(3)電子メール・メーリングリスト

生徒に、電子メールのアドレスを発行します。電子メール・メーリングリストのエチケット等については、「情報処理」の授業で指導済みです。メーラは教育関係に送金免除制度がある「AI-Mail」を使用します。

(4)メーリングリストの設定

メーリングリストを設立し、プロジェクトの流れを全体で共有できるようにします。メーリングリストは、北海道立教育研究所附属情報処理センター (<http://www.ipec.pref.hokkaido.jp/>) が行っている教育機関用のメーリングリストサービスを利用します。

(5)テーマ別課題研究

テーマ

「情報機器を活用したコミュニケーション・テクノロジー」をメインテーマに、生徒が、4名～5名の班を作り、研究テーマを決定し、実際に他校(協力校)の生徒とメーリングリストやウェブページなどを使って交流を実践することによって研究を行います。

研究成果

これらの活動報告を、ウェブページに掲載し、協力校と情報を共有するとともに、活動を広く発表していきます。

プレゼンテーション

プレゼンテーションソフトなどを用い、研究発表を行います。

(6)メーリングリストの運営

メーリングリストを用い、共同で行う活動の連絡や、ディベートなどや、研究課題のアンケートなどに使用し、参加生徒にメーリングリストの目的、エチケットなどを学習させます。

(7)遠隔地とのインターネット会議

協力校と、インターネットを用いた会議(Microsoft NetMeeting 等を使用)を行い、交流を行います。

